

令和6年度 クイックモッピングシステムについて

以下の①か②のうちチームの条件に当てはまる形式で、チームで準備したタオルを使用してフロアモッピングを行う。

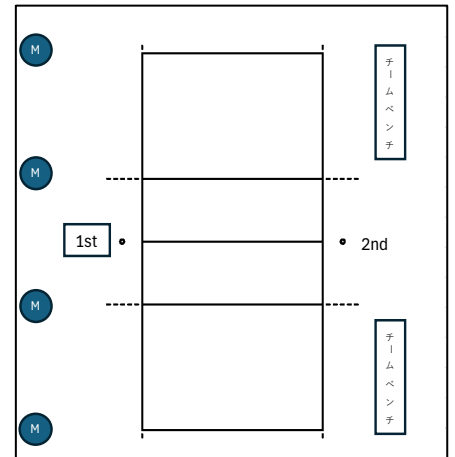
①登録外選手が2名以上のチーム→登録外選手で2名配置

基本は、右図のようなファーストレフェリー側のフリーゾーンの壁際の2か所（アタックラインの延長線上とエンドラインの延長線上）に配置。

※服装は選手と異なり、可能であれば統一された物であること。

※モッパーが応援及びチームのマネージメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする（警告対象）。

※試合開始前、タイムアウト及びセット間におけるモップを使用したワイピングは実施しない。実施していた場合にはやめさせる。写真のようにコート点を点検することは可能である。モップはウォームアップエリアに置き、レフェリーの判断で使用することを認める。



②登録外選手が2名未満、または、いないチーム→以下の(1)か(2)で行う。

(1)控え選手を2名チームベンチに配置

※試合開始前にレフェリーへ申し、チームベンチに座って待機。

※服装は選手同じく、統一されたユニフォームであること。

※モッパーは応援及びチームのマネージメント行為（ドリンク、アイシング作り等）もすることができる。ただし、ワイピング中に選手と会話することは禁止とする（警告対象）。

(2)コート内の選手が3名以上タオルを所持し、コート内の選手が自分でワイピングを行う。

(1)、(2)どちらの場合においても、試合開始前、タイムアウト及びセット間におけるモップを使用したワイピングは実施しない。実施していた場合にはやめさせる。コート点を点検することは可能である。モップはウォームアップエリアに置き、レフェリーの判断で使用することを認める。

★4面開催の場合（山県市総合体育館会場）、以下のように配置し隣接コートへのボールの侵入を防ぐ。

